図書館ニュース

出雲工業高等学校図書館　　２０２５．１１（２０７号）

（R7 年度キャッチコピー）

「こころとあたまの深呼吸」

読書週間公式サイト

読書週間とは？（10 月27日～11月9日）

「読書週間」は、終戦まもない1947年（昭和22）年、
「読書の力によって、平和な文化国家を作ろう」と
出版社・取次会社・書店と公共図書館、
新聞・放送のマスコミ機関によって始まりました。

今年度は図書委員のおすすめスライドを
モニターで流しました。

紹介された本は図書館前の廊下に展示しています。
ぜひ、この機会に1冊手にとって、一息ついてみてください。

学校の図書館に希望の本がないときは

→リクエスト・取り寄せができます！

新たに購入する他、他の図書館や学校から貸してもらうこともできますので、ぜひお気軽にご相談ください。

リクエストはこちらからもできます。（Google フォーム）→
図書館カウンターにも用紙があります。

QR

新着本案内（10月：21＋45冊）
（全新着本は図書館にリストがあるほか、
学校 HP にも載ります）

学校 HP

知ってみよう！「小泉八雲（ラフカディオ・ハーン）」

ギリシャ生まれ、アイルランド育ちの作家で、アメリカで新聞記者をしていた頃、日本に興味を持ち来日しました。

島根県松江市で八雲は小泉セツと出会います。セツの語りをもとに八雲は『怪談（KWAIDAN）』を書き、世界へ日本の文化を発信しました。「耳なし芳一」「雪女」「むじな」などが有名です。

現在放映中の朝の連続テレビ小説「ばけばけ」の主人公は、八雲の妻である小泉セツがモデルです。

図書館にも怪談や八雲についての本があります。

さらに新しい本も入るのでぜひ読んでみてください。

『5分で深掘り！小泉八雲のホントの怪談　雑学×漫画』（竹書房）

『妖怪に焦がれた男小泉八雲全解剖』
小泉凡 // 監修（宝島社）←（小泉八雲のひ孫の方。）

『思ひ出の記』 小泉節子（小泉セツ）// 著（ハーベスト出版）
小泉セツの見た八雲の姿。おはなしみたいな本当の話！

【怪談アニメ】3分でわかる小泉八雲の怪談（秘密結社 鷹の爪）

100周年＆日本では初開催！

11月15日～26日は東京デフリンピック

デフリンピックとは…

デフ（Deaf）とは、英語で「耳がきこえない」という意味。
デフリンピックは国際的な「きこえない・きこえにくい人のためのオリンピック」です。
耳の聞こえない人のために様々な工夫がされています。

詳しくは
『世界に挑む！デフアスリート―聴覚障害とスポーツ』
森埜こみち // 著（ぺりかん社）をどうぞ。（780-モ）

【新着】（378）
『日本手話がおしえてくれること
―ろう者から学ぶための65の疑問』（大修館書店）
手話というコミュニケーション文化についてQ&Aで解説。
『はじめてでもそのまま使える手話会話フレーズ228』
鈴木隆子 // 著（池田書店）

【シリーズ続巻】

漫画（726／漫画コーナー）
『君と宇宙を歩くために　5』 泥ノ田犬彦 // 著（講談社）
『キングダム　77』 原泰久 // 著（集英社）
小説（913）
『あの星が降る丘で、君とまた出会いたい。』 汐見夏衛 // 著（スターツ出版）
『あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。』続編。中2の涼は百合という同級生に惹かれていくが、彼女の中には不思議で悲しい恋の思い出があった。

新着本ピックアップ

【知る！本】

雑学
『知りたいこと図鑑』 みっけ // 著（KADOKAWA）031-ミ
単位、誕生石、元素、紙のサイズ、ファッション用語などなど、著者が気になった様々な知識をおしゃれなデザインで紹介。
『教養になる超雑学　人に話したくなるほど面白い！』
近藤仁美 // 著（永岡書店）049-コ
クイズ作家が集めた、面白情報を1ページで簡潔に紹介。
海の本（452）
『海の学校　わかりやすくておもしろい！！』
藤倉克則 // 著（ニュートンプレス）
『世界でいちばん素敵な海の教室』 藤岡換太郎 // 著（三才ブックス）

写真を見るだけでもきれいで楽しい。

大好き！フルーツ（625）
『フルーツのおいしい図鑑』 くだもんずラボ // 著（オレンジページ）

【話題のミステリー】
『失われた貌』 櫻田 智也 // 著（新潮社）913-サ
山奥で見つかった凄惨な死体。それは10年前に失踪した父親かもしれないと訴える小学生が現れたことから、過去と現在が絡み合い、事件は思いがけない方向へ動き始める。

リクエスト・本の感想などはこちらから→ QR

図書館内にも、メッセージを書けるカードがあります。
おすすめ本や図書館への要望、イラストなどご自由にどうぞ。